

報 医 世 々



目 次

- 巻頭言 医療安全に発想転換を…「レジリエント・ヘルスケアシステム」
気仙医師会 副会長 伊 藤 達 朗… 2
- 理事会報告…………… 4
- 第 6 回理事会報告…………… 4
- 随 想
「刺 青」……………山浦医院 山 浦 玄 嗣… 6
「高田松原の思い出」ちば内科医院 千 葉 誠… 7
- 医院紹介……………大津医院 院長 大 津 定 子… 9
- 陸前高田市国民健康保険広田診療所
所長 近 江 三喜男…10
- 県立病院各科紹介
岩手県立高田病院眼科 院長 田 畑 潔…11
- 学校医等の推薦について……………13
- 岩手県立大船渡病院からのお知らせ……………17
- 事務局日記……………17
- 編集後記……………18
- 表紙のことば……………18



第 1 3 7 号
2016. 4. 25

気 仙 医 師 会
岩手県大船渡市盛町字内ノ目 6 - 1
TEL:0192-27-7727 FAX:0192-26-2429
<http://kesen-med.or.jp/>

巻頭言



医療安全に発想転換を… 「レジリエント・ヘルスケアシステム」

気仙医師会 副会長

伊 藤 達 朗

昨年10月より施行された、医療法による医療事故調査制度について、多くの研修会が開催され、マスコミでも何度も取り上げられている。しかし、医療現場では事故調査そのものも重要であるが、施設の大小問わず、事故が起こってからではなく、事故が起こらない環境、より安全な医療を求めている。1990年後半より、医療事故が多発したことにあいまって、医療機関では積極的に医療安全活動を行ってきたが、何度も繰り返し同様の医療事故が現在も起きている。これまでの医療安全活動は「失敗には必ず原因がある」という発想を前提とし、因果律を信条として行われており、その効果に限界があると言える。

一方、最近、安全の世界的大家である南デンマーク大学のエリック・ホルナゲル教授が提唱する、安全にアプローチする方法として「レジリエンス・エンジニアリング」という概念が紹介されている。それは日常業務の複雑性を理解し、上手くいっていることから学び、先行的な対応をすることである。この「レジリエンス」は変化や混乱の起こる前でも、その最中でも、その後でも、システムの機能を調整できるようなシステム自体の持つ内的な能力を意味する。また、この概念を医療現場に取り入れたシステムを「レジリエント・ヘルスケアシステム」といわれている。

ホルナゲル教授は安全の定義として、Safety-I と Safety-II の2つを紹介している。

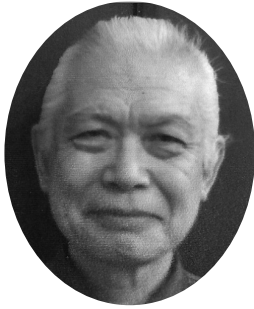
Safety-I は有害事象（アクシデント、インシデント）がない状態あるいはほとんどない状態と定義され、対症的なアプローチであり、有害事象の原因を発見し、それを除去も

しくは減弱させることによって安全は確保されるという前提に基づいている。

Safety-IIは変動する条件の下で物事をうまく行う能力と定義し、意図した満足な日常業務ができる限り多くなるようにすることである。いわば、Safety-Iが従来の医療安全の考え方、Safety-IIが「レジリエント・ヘルスケアシステム」における考え方である。

安全管理からすると、Safety-Iはうまくいかないことを避ける、後追い型の安全管理、Safety-IIは物事がうまくいくようにすること、先行的安全管理と言える。Safety-IIの見地からすると、システムが機能しているのは人々が現場の状況に合わせて自分の行う事（パフォーマンス）をうまく調整（アジャストメント）しているからである。うまくいってない時やそうなりそうな時に、人々がそれに気づき、修正し、深刻化する前に対処することはパフォーマンスの変動というが、ここでいう変動とは、規範や標準からの逸脱という意味ではなく、安全や生産性の基盤となっている調整という意味である。この能力は脅威ではなく、強みであり、医療のような複雑性社会技術システムが機能するためには必須である。Safety-IIの安全管理の考え方は、パフォーマンスの変動が悪い方向に向きそうであれば弱め、良い方向に行きそうであれば強めることで管理することである。よって、これからの医療安全活動は、医療者が発想の転換を行い、Safety-IとSafety-IIの2つの物の見方を組み合わせて行う必要がある。

随 想



刺 青

山 浦 医 院

山 浦 玄 嗣

もう三十年近い昔のことだ。

その日は甲 嬴（カゼ）の口開きで浜人が来なかったから、診察室は暇だった。一人の婆さんが入って来て、周りに誰もいないのを確かめてから、言いにくそうに話し始めた。

自分には死んでも死にきれない秘密がある。しかし、自分ももうだいぶ年取った。そろそろお迎えが来る予感がする。それにつけても、我が身の秘密が露われて受けるであろう恥辱のことが心配で、居ても立ってもいられない。そういう切々たる訴えなのであった。

わたしも驚いて、一体その秘密とは何かと問い質した。

それは入れ墨であった

彼女が数え年十六の時、放蕩者の父親が博打に負けた借金を返せず、娘を六ヶ月間の期限付きで「あねや」に売ったのだという。天神山の裏手、柿の木沢には遊郭があって、今の消防署の近くの小川を渡って行くのだが、そこに小さな木橋があり、「親不孝橋」と呼ばれていたものだ。その橋の向こうに彼女は借金のカタに女郎として売られたのだ。「あねや」とは「姐屋」の意味だ。

そこで客を取らされていた間、父親に金を貸したヤクザの親分が彼女をしょっちゅう弄んだ。名は忘れたので、仮に五兵衛としよう。そいつが彼女の内股に「五兵衛命」という文字を彫り込んだ。ひどいことをするものだ。

さて、年季が明けて、あね屋から解放され、その後縁があって結婚し、四人だか五人だかの子供にも恵まれた。ごく平凡で人並みの人生を送り、老境を迎えた。その間、彼女は

内股に彫られたあの禍々しい入れ墨をついに隠し通し、夫にさえも見せたことがない。お産の時の産婆さんにも何とか隠し通した。こんなものが露見したら、堅気の夫も家族も仰天し、彼女は死ぬより辛い恥辱のうちに家を追い出されただろうという。

だが死期が迫る年になって恐怖が襲ってきた。死ねば必ず裸にされて湯灌をうける。そんなことになるくらいなら、海に身を投げて死にたいが、老いた腕には沖に船漕ぐ力もない。どうしたらよからうか。

ためらう老女を横えて、裾をめくると、皺だらけの内股に金釘流で「五兵衛命」の青い文字が醜い姿を現わした。

その場で局所麻酔をし、長さ二寸、幅一寸ほどの皮膚片を入れ墨ごと切除した。簡単な手術が終わったとき、老女は喜びのあまり顔中を涙でビショビショにし、診察室の床に座りこんで両手を合わせ、何か経文のような感謝の言葉を唱えながら、わたしを伏し拝んだ。

半年ほどしたある日、東海新報の死亡広告欄でたまたま彼女の名を見た。あの輝くような喜びの顔が、行間から飛び出してきた。

「辛かっただろうに、でも、間に合ってよかったな、婆ちゃん」とわたしは呟いた。

高田松原の思い出

ちば内科診療所

千葉 誠

かつて高田松原は日本百景、白砂青松百選にも選ばれており夏の海水浴シーズンには県内外からの海水浴客で賑わっていました。毎年8月の第1週目の日曜日はまさに夏のピークで、一日に6万人以上も訪れる県内随一の海水浴場として、砂浜を埋め尽くさんばかりに色とりどりのビーチパラソルで賑わっていました。受験浪人中、陸前高田市観光協会のアルバイトとして遊泳監視員や観光客対象のアンケート調査員をしていたのでその賑わいぶりは良く覚えています。その高田松原の砂浜での思い出を語りたいと思います。砂浜は、白砂と言いましても砂粒はむしろ灰色の砂でした。近隣の玄武岩質の岩が砂になったものでしょうか。広田半島を挟んでの広田海水浴場の白っぽい砂浜との色の違いが印象的でした。

高田高校野球部に所属していた頃、冬季オフシーズンには毎日片道2キロメートルの砂浜ランニングが恒例の練習になっていました。それも波打ち際の固いところではなく、乾いた柔らかい砂の上を5往復するランニングです、距離にして約20キロメートルもありました。冬だけではなくシーズン中の週末にも同様に走らされていました。時間にして2～3時間ぐらい走っていたのでしょうか、足は走っている間にしびれ、砂を踏む感覚は途中から無くなっていました。育ち盛りの時期にそれだけ鍛えればひと冬越えるごとに足腰尻がどっしりと変わってくるのを実感できました。その足腰が私の後々のスポーツ歴に大いに役立ったことは言うまでもありませんでした。

その後年月はあっという間に40年近く経ってしまいました。私にとって都会の4車線道路の横断歩道、対岸にある信号の青色点滅は止まって待てのシグナルです。向こう岸まで走ってたどり着けないのです。子供に置いてきぼりにされてしまうのがおちです。敢え無く横断を断念する。青色点滅は諦めて待てです。それが一番賢明なのです。

一年半前、この体力では駄目だと自覚し一念発起スポーツジム通いが始まりました。ジムに通えるのは週末の2日間、目標は、とにかく少しでも減量すること、そして長い距離を走れるようになることでした。ランニングマシーンで3分走行、早足歩行等のインターバルで体を慣らしながら徐々に時間と距離を延ばしていきました。一年近くかけてようやく30分連続走行、距離にして4千メートル、高田松原の砂浜をやっと1往復出来るようになりました。しかし、喜んだのも束の間、無理な柔軟体操を行ったため、予想外の胸椎圧迫骨折。

4ヶ月間ジムに通えない状態になってしまいました。ようやく回復しそろそろリハビリを兼ねた運動開始と思っていますがなんとも情けない出来事でした。

少なくとも、週2～3回の適度な運動、1日5千歩以上の歩行、目標心拍数1分間140回、減量5キログラムが自分への運動処方です。またいつか白砂青松の砂浜を走ってみたいものです。



2009年・高田松原にて遊ぶ長男

大津医院

院長 大津 定子

「大津医院」は平成25年11月1日に名称変更しました。子どもの頃通院した子が大人になって、自分の子どもと一緒に受診する人が増えた為です。「大津小児科医院」は昭和54年1月10日に開業しました。「医院紹介」ということですが、開業37年の小さな医院の短い歴史を書く事にします。

昭和53年の夏、開業を決断しました。県立大船渡病院小児科の一人科長を勤めていた時です。自宅のある場所が、この年大船渡市の都市計画地域になったのです。いずれ壊すことになるのだから、最低限の診療所を作る事にしました。その当時、開業医の医院では19床の入院ベッドを持っている診療所が殆どで、気仙医師会の40数の開業医院のうち入院ベッドを持たない診療所は2～3軒でした。全くベッドなしの新開業は、珍しいと言われました。私は入院を必要とする患者さんは大船渡病院にお願いすることに決めていたのです。親の仕事が医者と関係ない家庭だったので、家業を継がなければならないという縛りもありません。また、気負って医者になったわけでもない私は、開業も大船渡病院の外来患者を診る姿勢で気軽に考えていました。しかし、第二次ベビーブーム（昭和48～49年）の影響で子ども人口は多く、感染症に対する予防注射もその種類が少なく、いわゆるプライマリ・ケアを必要とする患者さんは多かったです。麻疹、風疹、ムンプス、水痘・・・なども外来通院を数日続けることで治癒する事も多かったと思います。数年間、混雑する外来診療に追われました。大急ぎで建てた粗末な一階建ての狭い診療所は、患者プラス付添い家族で、いつも賑やかでした。また、大船渡に来てすぐから担当した学校医（盛小学校・私の母校）を続け、保育園の嘱託医、児童養護施設の嘱託医も引き受け、保健所・大船渡市役所保健センターでの乳幼児健診を、昼休み時間を利用して出かけました。

開業して10年後、地域で始まっていた都市計画のため当院は移動する事になりました。あちこち故障が出始めた診療所と築50年の自宅は取り壊すことになり、都市計画の日程で完成時期が決められている中での工事は、その対応に追われる日々でした。改装、増築した診療所の引っ越しが終わって3週間後、昭和天皇の崩御。年号が「平成」になりました。それに続いて、自宅の新築、すべて完成したのは平成2年12月でした。



一方、気仙医師会では、いつの間にか理事になり広報部、学校医部に配属され、学校医部長と県医師会の学校医幹事を平成4年から平成24年まで20年間関わるようになっていました。また、県医師会の代議員、県理事も引き受ける羽目になっていました。鳥羽義紀先生の総務部長の後を引き継いだ細井先生の突然のご逝去。その後の総務部長を務め、山浦会長の下では副会長をして、歳月が流れ、平成は20年過ぎていました。70歳になった私は、初めて入院しました。平成21年夏に腰椎の「脊柱管狭窄症」の手術を受け、22年11月に足関節骨折で手術。やっと杖を頼りに歩き始めた時、2011.3.11の「東日本大震災」です。気仙医師会の被害は甚大でした。犠牲になった武田会長、村上静一副会長の後を受けて、定款に従って会長代行を1年間勤めましたが、平常時の会長職の3倍の仕事量があったと思われる忙しい毎日でした。しかし、この体験はあらゆる意味で大きな勉強で、

様々な人々との出会いがこれからも大きな財産になると思います。



パンビのガラス絵「待合室のクリンクルガラス」
昭和54年開業当初のまま

このように時代と共に過ごしてきた日常の診療の中で、今も続けている仕事の柱が二つ。

一つは「アレルギー疾患」：小児のアレルギー3大疾患①気管支喘息②アトピー性皮膚炎③アレルギー性鼻炎の治療と予防です。アレルギー疾患は、大船渡病院勤務時代に気になった疾患で、この地方に罹患者が多く、外来診療でかなりの割合でコントロール出来る疾患の一つだと思っています。勤務して間もなくから「日本アレルギー学会」と複数の関連学会に加入しました。抗アレルギー薬が全くなかった時代からアレルギーと付き合って47年が過ぎました。近年、抗アレルギー薬の進歩のおかげで外来管理が、とてもし易くなりました。「アレルギー疾患があっても、健常な子どもと同じことが出来る子に」を目標に、生活指導と薬物治療を続けています。文明病ともいわれるこの疾患は、年々増加しています。特に10年ほど前から、食物アレルギーの子どもが急速に増えています。医療だけでなく、子どもを取り巻く「多方

面の生活環境（家庭・保育園・学校など）に相互の親密な連携と新しい対策が求められる時代になったと思います。」

もう一つは、日常診療を通しての子育てのアドバイスと、行政と連携して進めなければならない「母子保健」です。乳児健診や予防注射の体制は、改善を重ねてより良い方向に進んでいる筈です。しかし、昭和60年頃から、「子育てのイ・ロ・ハ」を理解できない家族（あえて家族：若い両親だけでなく祖父母も含めて）が増えてきたと感じました。「生まれてくる子どもが、すべての面で健やかに育つ」ための社会環境づくりが大切だと改めて思うのです。小児科医になって50年の女性医が診療中に出来るアドバイスが子育てにいくらか役に立つことを願って、今日もまた、診察椅子に座っています。また、平成16年から気仙医師会主導で開始した「赤ちゃんふれあい体験学習」が助産師の会、保健センター、教育委員会、学校の協力で、今も行われています。「健全な子どもを育てられる親になるような子を育てる」を目標に。高齢ですが、楽しく笑って子どもたちとの会話を続けていきたいと願っています。



花を持った写真（「生け花は趣味の一つ」）

陸前高田市国民健康保険広田診療所

所長 近 江 三喜男

平成23年3月11日の津波後、広田小学校の保健室を救護室として8月中旬まで、その後は現在の場所で仮設の診療所で業務を続けています。平成28年度内には広田小学校に隣接した高台に新しい診療所が出来る予定になっています。

援助物資として比較的早くにCBC、CRPと電解質測定器、ポータブル超音波診断装置その他の提供があり、又、日頃から"ほどほどの医療"を心がけていたこともあり、津波後も早くから津波前と同様の診療を行うことが出来たと思います。

広田は昔から高齢の患者さんが大きな家に住み、大きな家族に支えられ大事にされつつ診療所に通っていました。しかし、津波により地域社会や家族

の形が大きく変化し、多くの人が生活の余裕を失い、高齢者では尚更に、日常の生活にも通院にも困難を来している患者さんが目立ちます。また、以前はコミュニケーションが取れにくい高齢の患者さんでも、付添いの家族を通じて状況を把握することは比較的容易だったのですが、津波後は高齢患者さんの孤立が目立ち、認知症でなくても以前よりコミュニケーションが取れ難くなったと感じます。毎日の診療では30~40人の患者さんを診ることが多いのですが、亡くなる患者さんも多く、患者数は年々減少しています。

医療スタッフは高齢医師1名、フルタイムの看護師2名、パートタイム2名で内1名は週3日だけです。人的には全く余裕はなく、医療者側の高齢化も進んでいますが、幸運にも健康に恵まれ10年間1日たりとも休診なしで診療を行っています。

このような諸状況に応じ、医療過疎地域の医療を先取りすると言うか、単に言い逃れの医療と言うべきか、「治す医療よりは寄り添う医療」に主眼を置いて診療しています。

それを具体的に箇条書きに説明すれば、

- 1) 薬を可及的に減じる。
- 2) "加齢に伴う心身の不具合=病気"の思考パターンからの脱却を計る。つまり、「治すより慣れる」への誘導に努め、歳には勝てないと納得出来るレベルを患者さんと一緒に模索する。
- 3) 検診などは極力受診を勧め、「診療所にかかっているから大丈夫!」とは言わせないように指導する。

4) 多くの高齢者には生活習慣病よりも栄養失調を心配するように指導する。

5) 中年年には「健康・病気テンデコ」を強調して丁寧な指導する。

6) 訪問診療は必要に応じて行う。

7) 介護に関連して患者さんと家族に「ケア・マネージャーが一番偉いんだよ!」と機会あるごとに強調し、患者・介護者-診療所-病院の連携が円滑に行われ易い環境整備に努める。

8) 地域の状況から院外処方発行には限界があり、特に孤立している高齢患者さんには訪問薬剤管理指導の導入を計る。

9) 職員一同には一層地域に溶け込む姿勢を強調しています。

以上、診療所の津波後の経過および現状と、診療における基本的姿勢などを紹介しましたが、今後とも病院、診療所の先生方には御指導、御鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。



県立病院各科紹介

岩手県立高田病院 眼科

院長 田 畑 潔

今回は、高田病院の「眼科」についてご紹介いたします。

既にご存じのとおり、平成8年から約20年という長い年月にわたり、当院の眼科長として勤務いただいた菅野俊雄先生が、誠に残念ではありますが、本年の1月末をもって当院を退職されました。陸前高田市では、東日本大震災の発災前から、眼

科で開業されている先生が不在であるため、地域の眼科診療を長期間お1人で担っていただきました。本当にありがとうございました。

現在の眼科の診療は、菅野眼科長の退職に伴い、岩手医科大学の眼科学講座からの医師派遣により、体制を維持している状況です。診療日は毎週月曜日と水曜日の週2日で、受付時間は午前8時30分から午前11時までとなっています。菅野眼科長在職中には1泊の白内障手術等にも対応していましたが、現在は非常勤の診療応援による体制のため、手術等については、近隣の県立大船渡病院や気仙沼の医療機関等と連携させていただきながら、患者紹介により対応しているところです。

実質的に現在の診療体制となった昨年11月中旬から現在までの外来患者数は、1ヶ月の延べ患者数が約250人、一日平均では約40人弱であり、この数値は、菅野眼科長が常勤で勤務していた時期と比較すると、延べ患者数でおおよそ3/5、一日平均患者数では約2倍となっております。

現在の診療体制は、今後もしばらく継続となる予定であり、白内障手術等には当面对応することができませんが、岩手医科大学や近隣の医療機関等と協力しながら、陸前高田地域における眼科の医療提供体制を維持するため、引き続き努力してまいりますので、よろしくお願いいたします。

岩手県立大船渡病院からのお知らせ

平成28年4月1日から内科、消化器科及び循環器科の受付方法を変更しました。

当院は、気仙地域の救急医療及びがん等の高度専門医療を担っておりますが、現在の限られた医療資源（医師の人数等）では、その使命を十分に果たすことが困難な状況となってきております。医師の確保が困難な状況は、当地域及び岩手県のみならず全国的な問題でもあり、大変苦慮しているところです。

このことから、救急医療及びがん等の高度専門医療の提供体制の充実を目的に、平成28年4月1日から特に医師不足が深刻となっている内科、消化器科及び循環器科外来の受付方法を下記のとおり変更しましたのでご理解とご協力をお願いいたします。

記

- 1 新患受付：かかりつけ医療機関様からの紹介状をお持ちの方のみの受付とします。できる限りかかりつけ医療機関様を通じて事前予約することをお願いします。
- 2 再来受付：予約のみの方とします。症状が安定している方については地域の医療機関様を紹介させていただきます。CT、MRI等の精密検査や手術が必要となった場合、また定期的なフォローアップは当院で対応させていただきますので、ご紹介くださいますようお願いいたします。

※ 呼吸器科、神経内科及び泌尿器科は従来から上記の通りの対応とさせていただきます。

※ 救急患者については24時間受付しております。

【お問合せ先】

岩手県立大船渡病院 地域医療福祉連携室
TEL 0192-26-1111（内線6787 または6788）

平成28年度学校医等の推薦について

◎大船渡市教育委員会関係

様式 1

平成28年度 大船渡市立小中学校医推薦書

学 校・園 名	児童生徒 見 込 数	内 科	眼 科	耳 鼻 科
盛 小 学 校	143人	大 津 定 子	飯 塚 和 彦	伊 藤 俊 也
大 船 渡 小 学 校	161人	星 篤 樹	飯 塚 和 彦	伊 藤 俊 也
末 崎 小 学 校	148人	滝 田 有	飯 塚 和 彦	伊 藤 俊 也
赤 崎 小 学 校	69人	鷗 浦 哲 朗	飯 塚 和 彦	伊 藤 俊 也
蛸 ノ 浦 小 学 校	46人	鷗 浦 哲 朗	飯 塚 和 彦	伊 藤 俊 也
猪 川 小 学 校	322人	大 津 定 子	飯 塚 和 彦	伊 藤 俊 也
立 根 小 学 校	197人	星 篤 樹	飯 塚 和 彦	伊 藤 俊 也
日 頃 市 小 学 校	73人	山 浦 玄 嗣	飯 塚 和 彦	伊 藤 俊 也
大 船 渡 北 小 学 校	167人	菊 池 洋	飯 塚 和 彦	伊 藤 俊 也
綾 里 小 学 校	101人	山 浦 玄 悟	飯 塚 和 彦	伊 藤 俊 也
越 喜 来 小 学 校	87人	佐々木 道 夫	飯 塚 和 彦	伊 藤 俊 也
吉 浜 小 学 校	68人	中 舘 敏 博	飯 塚 和 彦	伊 藤 俊 也
第 一 中 学 校	349人	遠 藤 稔 弥	飯 塚 和 彦	伊 藤 俊 也
大 船 渡 中 学 校	221人	岩 渕 正 之	飯 塚 和 彦	伊 藤 俊 也
末 崎 中 学 校	93人	滝 田 有	飯 塚 和 彦	伊 藤 俊 也
赤 崎 中 学 校	82人	鷗 浦 哲 朗	飯 塚 和 彦	伊 藤 俊 也
日 頃 市 中 学 校	35人	山 浦 玄 嗣	飯 塚 和 彦	伊 藤 俊 也
綾 里 中 学 校	61人	山 浦 玄 悟	飯 塚 和 彦	伊 藤 俊 也
越 喜 来 中 学 校	57人	佐々木 道 夫	飯 塚 和 彦	伊 藤 俊 也
吉 浜 中 学 校	31人	中 舘 敏 博	飯 塚 和 彦	伊 藤 俊 也

※児童生徒見込数は、平成27年11月1日現在

様式 2

平成28年度 就学時健康診断担当医推薦書

園 名	受診対象見込数	内 科	眼 科	耳 鼻 科
盛 保 育 園	23人	大 津 定 子	飯 塚 和 彦	伊 藤 俊 也
大 船 渡 保 育 園	44人	岩 渕 正 之	飯 塚 和 彦	伊 藤 俊 也
明 和 保 育 園	22人	岩 渕 正 之	飯 塚 和 彦	伊 藤 俊 也
末 崎 保 育 園	18人	大 津 定 子	飯 塚 和 彦	伊 藤 俊 也
赤 崎 保 育 園	18人	鶴 浦 哲 朗	飯 塚 和 彦	伊 藤 俊 也
蛸ノ浦保育園	10人	鶴 浦 哲 朗	飯 塚 和 彦	伊 藤 俊 也
猪 川 保 育 園	31人	大 津 定 子	飯 塚 和 彦	伊 藤 俊 也
立 根 保 育 園	19人	星 篤 樹	飯 塚 和 彦	伊 藤 俊 也
日 頃 市 保 育 園	13人	山 浦 玄 嗣	飯 塚 和 彦	伊 藤 俊 也
海 の 星 幼 稚 園	24人	山 浦 玄 嗣	飯 塚 和 彦	伊 藤 俊 也
綾 里 こ ど も 園	幼稚園籍 2人 保育所籍 16人	山 浦 玄 悟	飯 塚 和 彦	伊 藤 俊 也
越 喜 来 幼 稚 園	0人	佐々木 道 夫	飯 塚 和 彦	伊 藤 俊 也
・ 越 喜 来 保 育 所	9人			
吉 浜 こ ど も 園	幼稚園籍 1人 保育所籍 10人	中 舘 敏 博	飯 塚 和 彦	伊 藤 俊 也

※受診対象見込数は、平成27年11月1日現在

別紙様式

平成28年度 こども園・幼稚園・保育所学校医及び嘱託医・推薦書

学校・園名	幼 児 見込数	内 科 (学校医)	内 科 (嘱託医)	眼 科 (学校医)	眼 科 (嘱託医)
綾里こども園	幼稚園籍 7人 保育所籍 58人	山 浦 玄 悟		飯 塚 和 彦	
越喜来幼稚園	3人	佐々木 道 夫		飯 塚 和 彦	
越喜来保育所	48人		佐々木 道 夫		飯 塚 和 彦
吉浜こども園	幼稚園籍 4人 保育所籍 37人	中 舘 敏 博		飯 塚 和 彦	

※幼児見込数は、平成27年11月1日現在

平成28年度 児童生徒「結核精密検査」実施医療機関

NO	医療機関名	住 所	医 師 名
1	岩 渕 内 科 医 院	大船渡町字新田49-4	岩 渕 正 之
2	石 倉 ク リ ニ ッ ク	大船渡町字茶屋前55-3	石 倉 功 一
3	う の う ら ク リ ニ ッ ク	立根町字中野40-5	鵜 浦 哲 朗
4	えんどう消化器科・内科クリニック	猪川町字中井沢7-2	遠 藤 稔 弥
5	大 津 医 院	盛町字東町11-11	大 津 定 子
6	菊 田 外 科 泌 尿 器 科 医 院	大船渡町字明神前11-1	菊 田 裕
7	滝 田 医 院	末崎町字平林75-1	滝 田 有
8	地 の 森 ク リ ニ ッ ク	大船渡町字山馬越188	蔵 本 純 一
9	山 浦 医 院	盛町字内ノ目2-4	山 浦 玄 悟
10	山 崎 内 科 医 院	盛町字内ノ目7-20	山 崎 一 郎
11	大船渡市立国民健康保険越喜来診療所	三陸町越喜来字所通26-1	佐々木 道 夫

※陸前高田市教育委員会関係

平成28年度 陸前高田市立小中学校医推薦書

内 科

学 校 名	使 用 校 舎	在籍生徒数	担 当 医	所属医療機関名
高 田 小 学 校	気 仙 小 学 校	223	大 木 智 春	県 立 高 田 病 院
気 仙 小 学 校	旧 長 部 小 学 校	70	大 木 智 春	県 立 高 田 病 院
広 田 小 学 校	広 田 小 学 校	127	近 江 三喜男	広 田 診 療 所
小 友 小 学 校	小 友 小 学 校	73	吉 澤 熙	鳥 羽 医 院
米 崎 小 学 校	米 崎 小 学 校	158	吉 澤 熙	鳥 羽 医 院
矢 作 小 学 校	矢 作 小 学 校	55	吉 澤 徹	鳥 羽 医 院
竹 駒 小 学 校	竹 駒 小 学 校	58	鵜 浦 章	鵜 浦 医 院
横 田 小 学 校	横 田 小 学 校	70	大 木 智 春	県 立 高 田 病 院
第 一 中 学 校	第 一 中 学 校	264	鵜 浦 章	鵜 浦 医 院
気 仙 中 学 校	旧 矢 作 中 学 校	69	鵜 浦 章	鵜 浦 医 院
高 田 東 中 学 校	旧 米 崎 中 学 校	197	吉 澤 熙	鳥 羽 医 院

耳 鼻 科

・市内全小中学校	在籍生徒数 1,364	伊 藤 俊 也	いとう耳鼻咽喉科クリニック
----------	-------------	---------	---------------

※検診委託契約

眼 科

・市内全小中学校	在籍生徒数 1,364	飯 塚 和 彦	飯塚眼科医院
----------	-------------	---------	--------

※検診委託契約

平成28年度 保 育 所 等 嘱 託 医

平 成 28 年 度			
区 分	保育所名（児童数）	医 院 名 称	医 師 名
公 立	高 田 保 育 所 (101)	県 立 高 田 病 院	大 木 智 春
	小 友 保 育 所 (54)	鳥 羽 医 院	吉 澤 熙
	今 泉 保 育 所		
	長 部 保 育 所 (41)	県 立 高 田 病 院	大 木 智 春
	矢 作 保 育 所 (8)	鳥 羽 医 院	吉 澤 徹
法 人 立	広 田 保 育 園 (87)	広 田 診 療 所	近 江 三喜男
	米 崎 保 育 所 (90)	鳥 羽 医 院	吉 澤 熙
	横 田 保 育 園 (31)	県 立 高 田 病 院	大 木 智 春
	竹 駒 保 育 園 (50)	鵜 浦 医 院	鵜 浦 章
	下 矢 作 保 育 園 (19)	鳥 羽 医 院	吉 澤 徹
児童扶養手当障害認定医（内 科）		鵜 浦 医 院	鵜 浦 章
児童扶養手当障害認定医（外 科）			
児童扶養手当障害認定医（精神科）		希 望 ャ 丘 病 院	

※児童予定在籍数は平成28年 2 月 1 日現在の申込者数

平成28年度 保育所等嘱託医眼科医名簿

平 成 28 年 度			
区 分	平成 28 年度 当初 3 歳児童予定在籍数	医 師 名	医 療 機 関 名
公 立	高 田 保 育 所 (16)	飯 塚 和 彦	飯 塚 眼 科 医 院
	小 友 保 育 所 (15)		
	長 部 保 育 所 (9)		
	矢 作 保 育 所 (0)		
法 人 立	広 田 保 育 園 (25)		
	米 崎 保 育 所 (18)		
	横 田 保 育 園 (10)		
	竹 駒 保 育 園 (12)		
	下 矢 作 保 育 園 (2)		
計	(107)		

※児童予定在籍数は平成28年 2 月 1 日現在の入所申込者数